



せとうちクリーンアップフォーラム ～美しい海を瀬戸内から～

助成区分

植栽

環境保全

調査・
研究

教育・
啓蒙

実施状況

参加人数: 178人
ごみの量: 342kg

海岸クリーンアップ4回実施
オアシスマップ作成 30ヶ所以
上の補給場所を掲載

活動の全体目標に
対する達成度

100%

活動目的

「美しい海を瀬戸内から」を活動テーマとして私たちの足元である瀬戸内海を美しくすることによって、外海とつながっている海を美しく豊かにし、この環境を次世代へ残していこうと取組みをしています。

私たちの社会生活から発生したごみの最終的な行先として海があり、海に流れ込んだものが海ごみです。海ごみによる問題は、海洋汚染の原因だけでなく、そこに棲む生物へ害を及ぼしたり海洋資源を減少させたり景観を損ねたりしています。

このような中、県民に海ごみのことを知ってもらおうと共に何が出来るかを考え、行動できるきっかけや活動の場をつくることによって、現在の海を守ると共に将来の海(海洋資源や遊び、楽しみ、癒しの場)を守る一助にすることを目的に活動します。

活動内容

- ・海岸クリーンアップを4回実施(国際海岸クリーンアップ(ICC)手法を利用、気づきを大切にされたクリーンアップを実施)
- ・クリーンアップリーダーの育成
- ・マイボトル、リユースカップの利用促進(ペットボトル等のプラスチックごみの削減を目的)
- ・オアシスマップの作成(ペットボトル等のプラスチックごみの削減を目的として、マイボトルへ水やお湯の補給が出来るオアシススポットをWeb上に掲載)

成果

◆海岸クリーンアップ(4回実施)

- ・178人に参加してもらい、342kgの海岸ごみを回収することができました。
- ・ICC手法を使うことにより、参加者に多くのプラスチックごみや破片化したプラスチックごみの存在に気が付いてもらえました。また、問題意識が芽生えました。
- ・リーダーを配置することにより、参加者の気づきや学習を深化、満足度を上げる事が出来ました。

◆オアシスマップ作成

- ・オアシスマップを作成し、30ヶ所以上の補給場所を掲載しました。
- 新聞、テレビ、ラジオなど多くのマスメディアに取り上げてもらい、活動の広報が行えました。



リーダーによる説明



活動の様子



集合写真



オアシスマップ

工夫した点

- ・ICC手法を利用した海岸クリーンアップ実施。
- ・海岸クリーンアップの時に理解を深めるために、班リーダーを配置して説明を行いました。
- ・海や山の恵みを感じ、この恵みを守るための方法(海ごみを減らす、海の環境保全)を参加者に考えてもらいました。
- ・「うどん店」にオアシススポットの協力をしてもらって数を増やすことが出来ました。また、取り組みや内容の面白さからマスコミなどによる取材が多くあり、周知につながりました。

今後の課題

- ・今季事業としては100%目標に達成していますが、海ごみ(プラスチックごみ)の問題解決には、まだまだ時間を要します。引き続き、気づきを大切にされたビーチクリーンアップを行いながら、海ごみの問題を知る人を増やすのに合わせて指導者(リーダー)の育成を行う必要があります。
- ・リユースカップ、マイボトルの利用促進を引き続き行いながら、より利用しやすく、より利用者を増やすために、オアシススポットの数を増やすと共にオアシスマップの情報更新と紹介を行う必要があります。